

住宅事業に参入

建築家谷尻誠氏らのブランドFC加盟

工具・サウナなど販売の藤原商会（西区商工センター、藤原篤史社長）は8月、住宅事業に参入した。広島出身建築家の谷尻誠さんと、林哲平さんが共同代表を務める住宅ブランド「yado」（東京）にFC加盟。デザイン性の高さに加え、収納を集約した居住性などを強みに、廿日市・大竹市で営業展開を図る。

yadoは「泊まるように暮らす」がコンセプト。旅先にある特別感を日常でも味わえるよう、外の景色を切り取るようにデザインされた窓や、生活感の出るコンセントなどができるだけ取り払うといった工夫でホテルのような心地よさを住まいに取り入れるほか、世界中の建築物や景観から着想を得た新しい和洋折衷の建築デザインを提供する。例えば「yado local」では、和の伝統を現代風に合わせた「JP」や、北欧の静けさなどをイメージした「FI」、機能性と合理性を兼ね備えたワンフロアの住まい「LA」などの規格



住宅シリーズを用意。デザインに合わせたオリジナルの造作家具や納屋、サウナユニットなどのオプションもある。

中山間の農地や瀬戸内の多島美など、その土地の景観に合わせ設計する「yado journey」や、ホテルなどとコラボレーションした「同 gallery」なども提供。

施工は外注し、住宅に加え、セカンドハウスや宿泊施設としての需要も想定する。藤原社長は「説明会の際、両代表から直接背中を押してもらい挑戦を決心。広島街並みが美しくなるような素敵な住まいづくりに進みたい」と話した。

ハプロット

「ケガ予防」住宅150棟 作業療法士の視点で認定

作業療法士の視点で工務店に安全な家づくりをアドバイスするHAP R.O.T.（廿日市市、満元貴治社長）は8月、同社が住宅内のケガ予防に焦点を当てて認定する住宅が全国150棟を突破した。2022年の第1号から3年余りで達成。子どもから高齢者まで安心して住み続けられる住まいづくりを提唱し、省エネや耐震性能以外で差別化を図りたい中小工務店を開拓。26年までに顧問契約を現在から1.4倍の40社、認定棟数は2倍の300棟を目指す。

転倒や転落といった「日常災害」が起こりやすい玄関、廊下、階段、トイレなどに独自基準「安全持続性能」（全13項目・39点満点）を策定。例えば階段に250ミリの踏面（ふみづら）や停電時でも点灯する

First call company forever!!

～10年先もさらにその先も頼れる会社をめざして～



ひろしまで生まれ、ひろしまからお仕事発信!

株式会社 ワークスタッフ中国

広島市中区東白鳥町20番8号川端ビル4F

TEL: 0120-209-813 http://workstaff-chu.jp/



計の監修や、愛知の木工会社と共同で木製手すりの開発も進めている。ハプロットの年間商規模は約2000万円、従業員3人。

照明を採用したり、トイレの入り口は体の向きを変える動作が少なくなるといった工夫を設計に盛り込んでもらい、28点以上は最上位「三つ星」に認定する。1号案件を手掛けた旭ホームズ（佐伯区）をはじめ18都道府県の28社（8月時点）と顧問契約を結び、定期勉強会や、医療関係者が審査する住宅コンテスト「安全持続性能アワード」なども開いている。

満元社長は作業療法士としてリハビリ病院などに計11年間勤務し、21年に独立。「退院支援として住宅改修や家屋調査に携わる中で、家事動線だけでなく手すりや照明の位置など細部にまで気遣いが必要だと痛感した。『安全はオプションではない』という考えを広げ、新築だけでなくリノベ・リフォーム需要も取り込みたい」と話す。5月には三菱地所のスマートホームサービス「ホームタクト」のアンバサダーに就任し、両社サービスの認知拡大や普及につなげたいとする。このほか、新潟の有料老人ホーム（11月竣工）設計の監修や、愛知の木工会社と共同で木製手すりの開発も進めている。ハプロットの年間商規模は約2000万円、従業員3人。

呉・倉橋の酒



林酒造株式会社